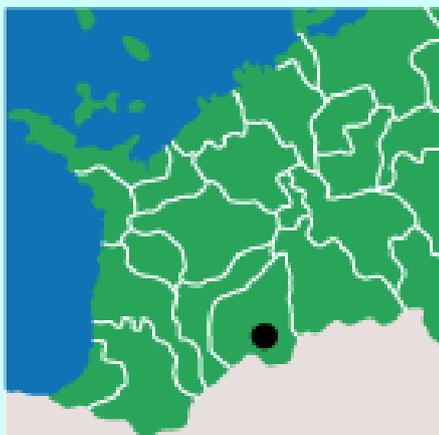


いけの おいけ
池ノ尾池



諸 元

貯水量	15万m ³
満水面積	3.1ha
集水面積	64.5ha
受益面積	29.8ha
堤高	14.0m
堤長	113.0m

戸川ダムの南約1km、西讃大規模農道から五郷財田を結ぶ広域林道の東側の山中にあります。築造の時期などは明らかではありませんが、元禄時代（1688年～1704年）の頃から大庄屋であった財田上ノ村の宇野家が、この池の麓の田畑をほとんど所有していたことから、この山中にため池を造ったのではないかと伝えられています。

このため池の名が記録に残っているのは、天保10年（1839年）頃に記された財田町の庄屋佐名木家の文書の中で、当時の上ノ村で最大の池として記載されています。堤防の中腹には、戦後間もない昭和21年（1946年）に第二次食料増産のため、6尺（約1.8m）のかさ上げ工事が完成したことを記す記念碑が建っています。昭和46年（1971年）には、堤防の石張工事が行われ、山の自然と調和した見事な姿を見せています。

